

発行 H21年11月19日
 発行者 広島市議会議員
 くわに 恭子
 事務所 〒731-5153
 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9:00~17:00



- 9月議会
9/25~10/16
- 総合計画
特別委員会
10/5~10/9

- H20年度決算
10/23~11/19
建設・消防で質問

皆様、ご無沙汰いたしております。市議会議員のくわに恭子です。
 すっかり寒くなりましたね。インフルエンザも心配です。お変わりありませんか。
 通信26号を発行いたしましたので、お届けいたします。勝手に自滅して自民党。選挙戦
 の少ない選挙において、大勝した民主党… 明治維新。第2次世界大戦の敗戦に続く
 大きな政治変化。政権交代がございました。これほど当たり前と思ってきたことを根本から見直す。
 戦後60年の棚卸し「事業仕分け」が行われています。少々、荒っぽいやり方にも見えますが、
 こうでもしないとムダの削減はできないでしょう。これから、大きな政治の変化、地方の
 あり方も変わるでしょう。この変化をただの傍観者としてではなく、変化の中で活動してい
 たい。うまく表現できないけど、そのように思っています。



H20年度は有給の休息時間が廃止の年 定時労働時間が増えたのに、残業もUP！ 民間は派遣村など100年に一度の大不況… 市は時間外手当を増額！

職員の人件費は、行政の最大のランニングコストです。人件費削減なしで財政再建はありえません。
 そして行政の根幹は、職員組織です。個々の職員の良い仕事が、そのまま良い施策につながります。

時間外勤務手当の予算と決算 (全会計) 単位：百万円

年度	H16	H17	H18	H19	H20
予算	4121	4186	4299	4629	4816
決算	4787	5246	5331	5251	5333
差異	+666	+1060	+1032	+622	+517

時間外手当は、減らしたいと言いつつ予算額は、毎年増えています。

時間外手当の決算額は毎年増えつつ、予算内におさまらずに増えています。市の全会計で53億円

平成20年4月からは、職員の有給の休息時間が廃止されお昼の休憩時間が45分に短縮、実労働時間が8時間となった唯一の年度です。昼休憩が15分短縮されて「気持ちにゆとりがもてなくなった」と職員の声を答弁しています。実労働時間が増えた証明です。

①休息が廃止になったのに時間外が増えた理由は何か

休息時間が廃止された以上に新しい業務が増えたため、時間外手当が増えてしまったと説明しました。

例えば：後期高齢者医療制度の対応・新球場建設の対応
 生活保護の増加・固定資産税評価替え など・・・

●労務管理はいい加減、コスト意識もない

職員には、タイムカードすらありません。年次有給休暇を1時間単位で取ることもできません。雨でバスが遅延してもそのほら有給が取り遅刻にはなりません。時間外についても目標はあるが守る気はない。恒常的に残業の多い課は、臨時職員を採用すればいい。手当53億円は、時給千円で年間1800時間勤務…約3千人の雇用で済む柔軟に対応できないもの。更に言えば、無駄な仕事をしていないか。時間を短縮する努力がみじんも感じられない。

●神奈川県、H21より「残業ゼロ宣言」

神奈川県はH22年4月から残業ゼロ県庁を目指すとしています。問い合わせると内向きの業務の禁止、柔軟な勤務形態の導入、職員自ら退庁時間と宣言、タラタラ残業の禁止など説明してくれました。ムダな仕事はない。業務内容の見直しに着手したことが、広島市とちがうところ。

②時間外を減らすと言いつつ予算額が増えているのはなぜか

ワークライフバランスの観点から毎年2%、H21年までの5年間で10%時間外を減らすといていたのですが・・・時間外手当の予算は、ワークライフバランスもあるが、前年の状況を加味しながら予算を組むと説明しました。決算額との乖離がありすぎるのも良くない。18項目ある職員手当の中で操作するので、予算超でも執行できるとのことです。

③時間外を減らす努力は何か

- 1) 事前命令の徹底
- 2) 定時退庁の徹底
- 3) 土・日など休日勤務を減らそう
- 4) 週休日の振り替えを平日に取る



努力や取り組みと挙げるような内容ではなく、当り前のことですね。これらを目標にしなければならぬのなら、時間外勤務の管理は、あて無いようなものでしょう。
 広島市としては、人件費全体では減ってきているので、問題はないとの認識なのでは。しかし、見かけの総人件費は減っているが、給与のマイナス働き、指定管理など委託費への転換等、人件費が隠されています。

●オリンピック招致？夢は安くはない！

局長クラスの職員でさえ何も知らなかった10/11の長崎、広島市長のオリンピック招致についての記者会見。その後連日、各自治体への協力要請を行っている秋葉市長の様子が報じられています。各首長さんは、何を快く引き受けられたのでしょうか。市の説明では、招致するかどうかを検討する検討委員会を設置し議論するとしています。
 平和という理念のはっきりしたオリンピック宣言だけに、現実的に難しいと思っても、あからさまに否定できない感があります。H6年のアジア大会について言えば、招致から大会開催まで16年かけており招致と大会開催経費は308億円。アジア大会関連の市債発行は約700億円で現在も市債残高は289億円。夢は安くはない！しっかり考えたい

ご意見をお寄せ下さい。お待ちしております。

膨大な時間と労力を使って作成した広島市総合計画は、あったらいいなの作文！

広島西空港は廃港に！東京便復活は無理！税金のムダ

●広島市は総合計画を改定しました。皆さん総合計画をご存知ですか…

1969年（昭和44年）地方自治法第2条第4項「総合的かつ計画的な行政の基本構想を定めなければならない」これを根拠に自治体運営の全ての基本となる計画「基本構想」の策定が義務付けられました。

①「基本構想」 ②おおむね10年間の行政計画を「基本計画」 ③4年程度の具体的施策が「実施計画」

この3つの計画をあわせて総合計画といいます。広島市は、平成19年12月から民間の有識者による総合計画審議会を設置し、また、市議会も平成20年9月に総合計画特別委員会を設置し審議してきました。そしてこの度、H21年度～H32年度の「基本構想・第5次基本計画」を議会が可決しました。

●可決にはなりましたが、大賛成とは言えません。私は意見を付して賛成としました。

★基本構想は、文章が高尚過ぎてわかりにくい部分や、やたら長い文章があり、市民が読んでわかりにくい

★平成17年から人口は減り始め、日本は今まで経験したことのない時代に突入しました。時代の大転換期にありながら、今回の総合計画も、これまで同様、4次計画の上書きです。例えば「広島西飛行場、東京便復活」など、現実的でない記述がそのままあります。計画の実施に当たっては、評価、確認を行い、必要に応じ速やかに変更するべきとの意見を付して賛成。

ものすごく大切な計画なのに、財源の裏付け、重要度や緊急度の整理も無い絵に描いた餅。作文です。しかも40年前の発想の総合計画。経済の高度成長にもとづく全国的な開発が進んだ時代のものです。少子高齢化の今、全く違うものを作るという発想が必要だと思います。市民も加わり、膨大な時間と労力をかけて作成しています。「つまらない計画」とは言いたくない。

●10年計画、広島市の決断の時です。「東京便就航の実現」できないことを書いてはいけません。

広島市は、東京便就航、西飛行場の改修整備など、前回の総合計画より充実した内容を記述しています。しかし、西飛行場からはH16年、JALの子会社が撤退。以来1路線も増えていません。現在は宮崎・鹿児島のみ。この状況で、羽田～西飛行場間に定期便（70人）を復活させようとしています。

①広島西飛行場を取り巻く状況

- ★2011年（H23）春に九州新幹線が全線開通
- ★それに伴い、JALは2011年までに広島西の定期便を全て廃止としている。
- ★国交省は羽田の国際空港化、ハブ空港化を明言。

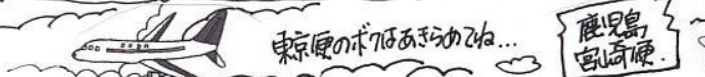
②市はどこまでも東京便就航を目指す

定期便が廃止になっても、H25年に追加される羽田の発着枠72便に期待して東京便就航を目指すと言っています。航空会社がない空港は自力で路線を確保できません。羽田は国際空港となって必要性の乏しい地方路線に発着枠は回りません

③広島西空港は廃港するべきです。

- 現在の西飛行場の総収入は4300万円です。
- 現在の維持管理費 → 5億7千万円/市負担金2億8千万円
- 定期便廃止の維持管理費 → 2億8千万円/県市で折半
- 消防などヘリポートのみ → 5000万円

広島西飛行場は、広島県の空港です。県の主張は、全ての機能を本郷の広島空港に移転させるということです。広島空港に一元化した場合、民間の報道などのヘリやセスナは不便になると思います。消防のヘリは、現在の場所にヘリポートを整備すれば、山で通りの活動はでき、防災の拠点も確保します。広島市経済の発展を掲げて、2億8千万円負担し続ける価値があるのか。私の意見は「廃港です」



旧市民球場跡地利用1930万円を減額修正し可決

3月の予算特別委員会で、議会は旧球場跡地利用の予算1930万円を否決している。（私は意見を付して賛成）同じ議案を、今回9月議会に再び提案。

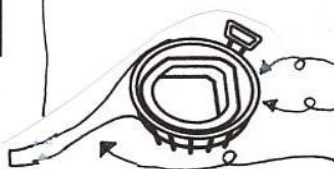
再度の 商工会議所、県菓子工業組合からH25年の全国菓子大博覧会を誘致、開催するので、跡地提案理由 利用計画を進めて欲しい旨の要望があったこと。これまでの議論同様、折鶴ホールの必要性が議論となりました。ホールの白紙撤回は無く、位置、規模、名称については柔軟に対応すると答弁しました。広島市が整備するものではなく、NPOが1億6千万円で整備し運営します。ホール機能が主で、折鶴の展示は少ないとの説明でした。

●1930万円は跡地の検討を進める予算です。修正案には反対しました。

自民党系会派と公明党から、1930万円の予算から工事費算出の経費と周辺地域の回遊性の検討費を削除した修正案が議会最終日に提案されました。おかしな修正案です。折鶴ホールが、気に入らなければ理解しますが、今回の予算は、基本設計図や模型など、どのような公園にするのか。市民も議会も商工会も理解し、イメージを共有するための予算です。概算費コストのわからない計画で、どんな議論をするのでしょ。

新球場の事業費は180億円

H10年3月国鉄清算事業団から110億円でヤード跡地を購入して10年以上が経過、やっとH20年3月に新球場が完成しました。事業費の検証が必要と思い質問しました。



土地取得費	54億7500万円
球場本体建設費	89億9996万円
カーブ専用部分	約20億円
周辺道路整備費	25億8800万円
球場に入る歩道	8億3000万円

★広島市が報告した総事業費179億8470万円

球場の中には、カーブ事務所や店舗などカーブ専用部分については、カーブが整備しています。全ての合計額は200億、当初、安さを強調して本体工事90億円と言われましたが、90億円ではとうてい建設できません。対案との比較のため、付帯工事費を隠していました。球場建設費に広島市は180億円の市債を発行、毎年6億5700万円を30年間かけて返済します。かたい見積りでの返済計画との説明でしたが、経済環境の変化の激しいときです。注視する必要があります。